

令和元年度
中部森林技術交流発表会
プログラム

令和2年1月30日（木）～1月31日（金）

会場：中部森林管理局 3階 大会議室

発表会次第

第1日目 (1月30日)

☆ 開会 局長挨拶 審査委員紹介	10:00
☆ 発表(7課題)	10:15 ~ 12:00
休憩	12:00 ~ 13:00
☆ 発表(7課題)	13:00 ~ 14:45
休憩	14:45 ~ 15:00
☆ 発表(5課題)	15:00 ~ 16:15
休憩	16:15 ~ 16:25
☆ 講評等	16:25 ~ 16:45

※9:00から旧長野営林局製作映画「木曾王滝森林鉄道」を上映
(入場は随時可能)

第2日目 (1月31日)

☆ 発表(6課題)	10:00 ~ 11:30
☆ 特別発表	11:30 ~ 12:00
休憩	12:00 ~ 13:00
☆ 講評、表彰等	13:00 ~ 13:45

※8:40から昭和30年代製作の映画「山に生きる人々」を上映
※9:00から中部森林管理局所蔵の林業遺産「木曾式伐木運材
図会」に関する解説講座(入場は随時可能)

令和元年度中部森林技術交流発表会 審査委員

氏名	所属
加藤 正人	信州大学 農学部 教授
田中 隆文	名古屋大学大学院 生命農学研究科 准教授
堀 靖人	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 研究コーディネーター
加々美貴代	NPO法人 やまぼうし自然学校 代表理事
竹内 純一	長野県林務部 信州の木活用課 主任林業専門技術員
川戸 英騎	中部森林管理局 森林整備部長

【聴講にあたってのお願い】

- ・ 発表中の会場への出入りはご遠慮下さい。
- ・ 携帯電話は電源をお切りいただくか、マナーモードへの切り替えをお願いします。
- ・ 喫煙スペースは1階の北口(屋外)のみとなります。
- ・ 昼食の際に発表会場(大会議室)はご利用いただけますが、会場にゴミ箱は設置しておりませんので、食事の際に出るゴミは各自お持ち帰りいただけますようお願いいたします。
- ・ 本発表会において撮影した写真については、中部森林管理局のHP、広報誌等に掲載させていただくことがありますのでご了承ください。

令和元年度 中部森林技術交流発表会 発表課題一覧表

第1日目（1月30日）

“○印”は発表者（または代表者）

民国別	発表部門	番号	課題名	所属	配属・職名	氏名	開始時刻	
国 有 林 の 部	森林技術	1	キッカケ沢土石流災害の発生によるその後の対応について	南信署	総括治山技術官 主任治山技術官 一般職員(治山担当)	○ オオクボ シュウイチ 大久保 秀一 タカハシ ススム 高橋 進 ジョウナイ ユウキ 城内 優希	10:15	
		2	花崗岩真砂土における航空実播工の経年変化の追跡～植生と土壌の観点から～	伊那谷 治山	一般職員(治山担当) 流域保全治山対策専門官 治山技術官	○ ツムラ ナオキ 津村 直樹 ミヤザワ マサヒロ 宮澤 昌弘 サトウ ヨシカズ 佐藤 義和	10:30	
		3	治山事業におけるニホンジカ対策と土壌固定の取組について	東濃署	治山技術官 治山技術官 森林整備官	○ スガノ ノブアキ 菅野 暢晃 ジョウクラ ケイスケ 城倉 恵介 エサキ ヨウスケ 江崎 陽介	10:45	
		4	木曾ヒノキ天然更新のためのササ制御とその効果について	木曾署 ふれセン	森林技術専門官 自然再生指導官	○ ナカジマ カズミ 中島 和美 ハヤカワ コウジ 早川 幸治	11:00	
		5	架線集材地域における生産性向上の取組	南木曾 支署 (有)ヤマカ木材 常務取締役	森林整備官	○ チムラ トモヒロ 千村 知博 ○ カツノ タイヘイ 勝野 泰平	11:15	
		6	高密度植栽地における間伐効果と今後の施業について	技セン	森林技術普及専門官 一般職員(業務係)	○ ヤスエ キヨフミ 安江 清文 ○ メザキ タクミ 目崎 拓海	11:30	
		7	ICTを活用したニホンジカ捕獲の取組について～わな見回りの軽減の試み～	愛知所	森林技術指導官	○ ヒオキ ヨリアキ 日置 順昭	11:45	
	休憩（12:00～13:00）							12:00
	8	造林事業の省力化に向けた新たな挑戦	愛知所	一般職員(森林育成担当)	○ ハニオカ チヒロ 埴岡 千尋	13:00		
	9	秋植栽したヒノキ・コンテナ苗が枯死した原因について	飛騨署 岐阜県森林研究所 専門研究員	一般職員(森林育成・ふれあい担当)	○ ヨコタ カズエ 横田 和江 ワタナベ ヒロシ 渡邊 仁志	13:15		
森林保全	10	中信森林管理署グリーンサポートスタッフの取組	中信署	一般職員(森林育成・ふれあい担当) 大野川森林官	○ スズキ リホ 鈴木 里歩子 ヒラトチ ジュンキ 平枋 潤己	13:30		

第1日目（1月30日）

“○印”は発表者（または代表者）

民国別	発表部門	番号	課題名	所属	配属・職名	氏名	開始時刻
国有林の部	森林保全	11	イヌワシ生息地の森林環境保全整備事業箇所における生息環境改善の試み（中間報告）	東信署	森林技術指導官 (株)環境アセスメントセンター	○ キウチ シゲアキ 木内 重明 ○ ミスカミ 勉ヒロ 水上 貴博	13:45
		12	高山・亜高山での長期にわたる植生復元事業～立山ルートにおける緑化木ミヤマハンノキの管理について～	富山署	立山森林官 立山ルート緑化研究委員会	○ クワバラ ユウタ 桑原 優太 ○ オオミヤ トオル 大宮 徹	14:00
		13	野鼠駆除の現状と確実な再造林に向けた今後の取組	東信署	一般職員(森林育成担当) 一般職員(森林育成担当)	○ フナキ タケル 舟木 武 ○ カトウ ヨシアキ 加東 良彬	14:15
		14	ニホンジカによる造林地被害に対する新たな取組について	岐阜署	七宗森林官 一般職員(森林ふれあい担当)	○ フルタ マコト 古田 誠 ○ ナカダニ アツシ 中谷 淳視	14:30
休憩（14:45～15:00）							
民有林・学生の部	森林ふれあい	15	地域へ届け！私たちの思い～下高井農林高校グリーンデザイン科の取組～	下高井農林高等学校	2年	○ ウエノ タツロウ 上埜 達郎 ○ コウノ ゴダイ 河野 悟大 ○ イトウ リョウト 伊東 涼斗	15:00
	森林技術	16	富山県における優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の省力的な育苗技術	富山県農林水産総合技術センター 森林研究所	副主幹研究員	○ サイトウ マキ 斎藤 真己	15:15
		17	グルタチオン施肥が秋出荷に向けたヒノキコンテナ苗生産へ及ぼす影響	岐阜県森林研究所 岐阜県森林研究所 岡山県農林水産総合センター	主任専門研究員 専門研究員	○ モテキ ヤスカズ 茂木 靖和 ○ ワタナベ ヒトシ 渡邊 仁志 ○ オガワ ケンイチ 小川 健一	15:30
		18	下刈りを完全省略した造林地におけるヒノキの成長	岐阜県森林研究所 岐阜県森林研究所	専門研究員 主任専門研究員	○ ワタナベ ヒトシ 渡邊 仁志 ○ モテキ ヤスカズ 茂木 靖和	15:45
19	新たな森林管理制度の長野県の取組について	長野県林務部 森林経営管理支援センター	森林政策課	○ イデ セイジ 井出 政次	16:00		
休憩（16:15～16:25）							
講評等（16:25～）							

第2日目（1月31日）

“○印”は発表者(または代表者)

民 国 別	発 表 部 門	番 号	課 題 名	所 属 ・ 職 名 ・ 学 年	氏 名	開 始 時 刻
民 有 林 ・ 学 生 の 部	森 林 技 術	20	ドローンを用いた定性と列状間伐木の画像抽出	信州大学農学部 4年 北信森林管理署 森林技術指導官	○ ウラノ ヨウヘイ 浦野 陽平 ○ イワツカ フシト 岩塚 伸人	10:00
		21	林大版チェンソー安全作業マニュアル～伐倒作業編～	長野県林業大学校 2学年	○ タカハシ コウジ 高橋 幸司 ○ ミノグチ ショウタ 溝口 翔太 ○ ミムロ アキヒト 三室 晃人	10:15
		22	スギ人工林を構成する個体の成長解析及び林分の現況に関する研究	長野県木曾青峰高等学校 森林環境科 3年	○ ササキ ハヤト 佐々木 隼 ○ ウメト トモヒト 梅本 倫仁	10:30
	森 林 保 全	23	ロープ巻によるクマ剥ぎ防除の効果について	(国研)森林研究・整備機構 森林整備センター 中部整備局 岐阜水源林整備事務所	○ カリノ ユウスケ 狩野 裕介 ○ コバヤシ カオリ 小林 佳央理	10:45
	森 林 ふ れ あ い	24	飛騨の赤松が育てる～森・人・伝統建築～	岐阜県立飛騨高山高等学校 山田キャンパス 3年 (資)戸田材木店・セルバ 専務	○ カノウ ヒデシ 加藤 英聖 ○ アカバナ ジン 赤羽 迅 トダ ショウジ 戸田 昌志	11:00
		25	林業界における女性の在り方	長野県林業大学校 2学年	○ イチヤナギ きくの 一柳 さくの ○ イワタ ツムギ 岩田 紬	11:15
特別発表 台風19号災害の被害調査におけるICT技術の活用				長野県林業総合センター 育林部 主任研究員	○ トダ ケンイチロウ 戸田 堅一郎	11:30
休憩（12:00～13:00）						
講評・審査結果・表彰等（13:00～）						